

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985  
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: [office@matsue-rotary.jp](mailto:office@matsue-rotary.jp)

## 第3196回例会(平成30年2月28日・水)

### 今週のプログラム

2月28日(水) ゲストスピーチ

「堀尾吉晴にとっての本能寺の変」

にしまたろう  
松江歴史館学芸係 主幹 学芸員 西島太郎氏

### 次週のプログラム

3月7日(水) ゲストスピーチ

「どうすれば職場環境が整うのか」

島根大学式働き方タイプ診断の開発から」  
国立大学法人島根大学 人間科学部 教授  
島根大学 こころそだちの相談センター センター長  
いわみやけいこ  
岩宮恵子氏

### 2018年(平成30年)3月の予定

3月7日(水) 定例理事会

3月21日(水) 春分の日のため例会なし

### 例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
3月8日(木)	平 田	ホテルほり江
3月13日(火)	出 雲	ホテル武志山荘
3月22日(木)	米子中央	ANAクラウンプラザホテル米子
3月22日(木)	松江東	ホテル一畑
3月28日(水)	米子東	ANAクラウンプラザホテル米子
3月29日(木)	平 田	ホテルほり江



本日のエレクトーン 松本悦子さん

## 第3195回例会記録

平成30年2月21日(水・晴れ)

会員数 68名  
出席者数 49名  
欠席者数 19名  
出席率 80.32%(出席免除会員含む)  
前々回補正 100.00%(出席免除会員含む)

ビジター なし

メーカーキャップ 後藤(松江南)  
井戸内、乾、井上、伊原、上定、内田、大野、尾崎俊、尾崎正、勝部治、勝谷、紀野、河原、小林祥、櫻井、佐藤尚、杉原有、田江、辻、長野、錦織、養、波多野、原、古瀬、細田、槇戸、松井、榊井、和田

## 会務報告

伊原会長

ゲストスピーチ紹介

李白酒造(有)代表取締役 田中裕一郎様

米山奨学生 ウィーさん紹介

奨学金お渡し

2月18日IM参加報告

ロータリー財団ポリオプラス寄付のお願い

森岡幹事

家族交流 宍道湖の幸を食べる会について

IM登録料について

## 委員会報告

クラブ管理運営 親睦・出席委員会 中島会員

出席報告

乾会員より歴史館のご案内

## スピーチ

「日本酒の現状と展望」

李白酒造(有)代表取締役 田中裕一郎氏



## ニコニコ箱

18,000円

伊原、内田、紀野、信太、杉原秀、永通、福田(ゲストスピーチ田中裕一郎さんのスピーチに期待して。)

内藤(スピーチはうまれた時からの長い付き合いです。)

錦織(本日のスピーチ田中裕一郎さんのお話に期待して。一日も早く会員スピーチでお話がかがえるのを楽しみにしております。)

西村(ゲストスピーチ田中裕一郎さんへ。松江ロータリー入会まだですか?)

槇戸(李白酒造田中社長のスピーチに。私は先代竹次郎様にロータリー入会を推薦頂き今日があります。)

森岡(同じ水泳チームの田中さん、今日のスピーチ期待しています。)

妹尾(田中社長のスピーチ楽しみにしておりましたが都合により早退します。)

辻(久しぶりに出席しました。)

乾(「熱くて床に臥す我に夫のにぎる巨大なむすびドンと置かるる」小林祥泰夫人の和歌で中央新報の文化欄で見ました。)

古瀬(入会月)

ベストメッセージ賞：乾隆明会員

司会 原田会場監督

### 3月例会プログラム予定

3月7日(水) ゲストスピーチ

「どうすれば職場環境が整うのか」  
島根大学式働き方タイプ診断の開発から」

国立大学法人島根大学 人間科学部 教授  
島根大学 こころそだちの相談センター センター長  
いわみやけいこ  
岩宮恵子氏

3月14日(水) ゲストスピーチ

「未定」  
国立大学法人島根大学 総合理工学研究科 教授 おうはつぶ  
汪発武氏

3月21日(水) 祝日 春分の日

3月28日(水) ゲストスピーチ

「ファインダーの中から見たロータリアン」  
一般社団法人ロータリーの友事務所 編集長 のざきまきよこ  
野崎恭子氏

ひとこと  
随想

心のリフレッシュ・臨床美術



たに ぐち ひろ のり  
谷口 博 則

グラフィックデザイナーは、印刷物や看板類のデザインをするのが仕事です。当社のグラフィックデザイナーも、日常はパンフレットや出版物等のデザインを担当しています。しかし、デザイナーにもこんな違う分野の活躍の道があることを知って驚きました。

弊社のデザイナーの一人が、休日を利用して京都の大学が主催する講座に通い、臨床美術士の資格を取得しました。それまで私は臨床美術士という資格があることを知りませんでした。ほうそれなら試しに、ということで社内でも講座を開催したところ、意外に楽しいと好評を得ました。

日本臨床美術協会のホームページによると、「臨床美術(クリニカルアート)とは、絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることによって、脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法(アートセラピー)のひとつ」とあります。

弊社ではその後も何度か社内講座を開き、私も毎回参加しました。

講師の指導に従って、絵を描いたり、造形を作成したりします。初めは自分の芸術的素養のなさを嘆いて恥ずかしさが先行しますが、実はうまい下手はあまり関係なく、誰でもそれなりの作品ができあがります。講座に熱中する1時間半のあいだ、普段使ったことのない脳の右側部分が刺激され、左脳が軽くなった気がして気分がすっきりします。以来、そのデザイナーは臨床美術士として企業や団体に頼まれると、ときどき社外でも講座を開いているようです。

企業でストレスを抱える社員が増えていると聞きます。カウンセリングや心理講座、宗教講話など、様々な角度から提供される方法がありますが、こんな心のリフレッシュのしかたもあるということをご紹介しました。

なお、島根大学医学部附属病院の市民ギャラリーや、県民会館ギャラリーで作品展示も行いました(写真は島根大学医学部附属病院での作品展示)。

(印刷)



### 家族交流

## 宍道湖の幸を食べる会

日時：2月25日(日)

場所：福田正明会員自宅事務所

